

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマートキッズプラス本八幡			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 9日 ～ 2025年 1月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	20
○従業員評価実施期間	2024年 12月 9日 ～ 2025年 12月 20日			
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者の引継ぎや保護者の相談対応について、好評価をいただいていること。	・日々の業務前、業務後ミーティングにて、利用者の様子や保護者からの相談内容等について共有している。 ・職員全員で方針について検討し、統一した対応を心がけている。	・今後も継続して日々のミーティングを開催し、職員の連携を図る。
2	・業務前、業務後のミーティングにて、目標設定や振り返り、連絡事項の共有を行うことが出来ていること。	・集団療育活動の内容は、毎月のテーマと五領域に沿って複数の企画案を出して計画している。 ・活動全体のねらいだけでなく、前回気になった様子の共有や個別支援計画に基づいた個々の課題・達成度を設定し、支援基準を明確化することで、適切な支援の提供を試みている。	・引き続き、五領域に沿った療育活動の設定に務める。 ・支援基準を明確化し、職員間で共通理解することで、適切な支援の提供を継続する。
3	・ほとんどの利用者が安心感を持って通所し、保護者からも事業所の支援に満足していただけていること。	・常に、丁寧かつ真摯に対応することを、職員全員が意識して日々の業務や支援に臨んでいる。	・自社の credo、理念を日々のミーティングで確認し、利用者や保護者への丁寧かつ真摯な対応に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ホームページでの活動共有や配信が滞っていること。	・年2回の保護者会にて、活動紹介を実施することで完結してしまっている。不定期業務から定期業務へと引き上げ、配信時期を設定する。	・前期、後期それぞれの活動報告や、イベントの様子を適宜ブログで掲載する。
2	・非常時対応について、希望者に個別で再度説明する等の対応を検討し、周知の徹底に務めること。	・契約時の説明のみに留まっている。内容の更新も含め、定期的に周知する案件とする。	・年度が替わるごとに、安全計画書を保護者へメール配信し、共有を図る。

3	・教室内研修として、利用者に関する事例検討を実施し、支援の見直しや職員間の連携強化、また個々のスキルアップを図ること。	・毎年の人事異動で職員が変わるため、前年度からの引継ぎが課題である。また、新任指導員の育成も必要となってくる。	・教室内にて利用者の事例検討会を多く設け、支援方針の統一化と指導員のスキルアップを図る。
---	---	---	--

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマートキッズプラス本八幡

公表日 2025年 3月 27日

利用児童
数 25

回収数 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	3			・運動や室内遊びできるスペースが確保されている。 ・外遊びがない。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1			・とても親身に相談にのってくれ、新しい発見があったり頼りになる。 ・ドライバーが少なく、スクールBSからスマートキッズへの送迎が難しいため。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	2				
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1			・子供の心情や言動に合わせ、その都度対応していただいている。今ここが課題だろうなという点を共有していただき、似たような場面をスマートさんで作って良い積み重ねをしてくれるだけでなく、その内容をお伝えくださり、参考にさせて頂いています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	20				・面談時とてもわかりやすく説明していただき、今後の見通しが持てた。毎回安心して相談できる。詳しくヒアリングして下さり、ありがとうございます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2			・毎月いろんな活動を体験させて頂き、ありがとうございます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	5	9	4	・土曜日ならできるかと思いますが、普段の下校時間から18時の間の短い時間では無理なのではないでしょうか？実際にやっている例など教えてほしいです。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3	6	3	・送迎時に困りごとなど、相談させていただき大変ありがたいです。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	19	1			・不安に感じていることに対していつも丁寧に対応してくださっている。対話やコミュニケーションを大切に考えていらっしゃるのだから信頼できる。 ・送迎時にいつも教えていただきありがたいです。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	1		・迎え時や面談などで、具体的に子供のやりとりを示してくれる。よく見てくださっているのがよくわかる。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1			・親目線・子ども目線の双方から困っていることを気に掛けてくださり、ありがとうございます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	8	5	3		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1			・その日の活動の様子や頑張っていたこと、体調面などを必ず報告してくださり、体調管理だけでなく、親子のコミュニケーションに役立っている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	8		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20					
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		3		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	2			・スマートキッズプラスさんへ通所した日はとても穏やかに過ごせることが多い。 ・行くと楽しんだ様子ですが、それまでは緊張するな～と言います。(本当かどうかは定かではないです)	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	3			・17時以降の迎えの際も、本人がやりたいことや少人数だからできることを見つけてくださっている。 ・今日の活動内容を話したりすると楽しめと言います。	

満足度							
29	事業所の支援に満足していますか。					・日替わりの活動は、どれも興味関心をもてるもので、子供たちが楽しめるように飽きないように考えてくださっているのがわかる。また活動中の様子をよく見て、頑張っていたことや以前より成長したことなどを報告してくださっていることにもとても感謝している。もうすぐ通所して2年経つが、スタッフの方々が子供たちに常に寄り添う姿勢や保護者の思いを聞いてくださる気持ちがいつも感じられ、安心、信頼感が日に日に増している。いつもありがとうございます。 ・最近体調不良もあり、色々大変則的で見みません。いつもご対応ありがとうございます。	
		19	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 3月 27日				
スマートキッズプラス本八幡						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・児童が痙攣を起こした際に、誘導できるスペースを確保している。 ・テープでエリアを区切りスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	・指導員が少なくとも安全に過ごせるよう、事前の環境設定を大事にしている。	・指導員は適切だが、ドライバーが1名しかいない状態が続いている。他教室の協力のおかげで運営を維持できている状況。 ・人員不足は近隣教室と協力してカバーしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・一日のスケジュールや送迎表を見て分かるように掲示している。 ・段差は踏み台や適宜補助することで補っている。訓練室はL字なので、職員配置により死角ができないようにしている。 ・ガムテープで待機列を貼ったり、気持ちのよい環境を整えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		・日々の清掃やおもちゃの消毒を継続している。また活動内容や余暇の遊びの状況に合わせて、机を移動配置している。 ・窓を開けての換気を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		・一部バリケードを作り、反個室のようなスペースを確保している。 ・壁にマットを貼り、怪我の予防に努めている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・業務前、業務後ミーティングの中で、都度共有をしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・業務前、業務後ミーティングを行うとともに、チャットにも残すことできるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・「研修」という形式ではないが、ミーティングの中で、児童の対応の仕方などで悩んだことがあれば適宜意見を出し合い、児童との関わり方について考える時間を設けている。 ・会社で定期的に集団研修やオンライン研修が用意されている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	・テーマに合わせて、いくつか活動の企画案を出して月の療育活動予定に入れたり、同じ活動内容でも主担当を変えたりして行っている。 ・基本的に個人で行っている。必要に応じてチームで相談する等している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・テーマに合わせて、いくつか活動の企画案を出して月の療育活動予定に入れたり、同じ活動内容でも主担当を変えたりして行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・活動内容については主担当から細かく伝達すると共に、前回利用時に気になった様子等は都度共有をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・活動内容について改善点や個別対応児童の様子等を細かく共有している。また、余暇や送迎時の保護者からの引き継ぎ内容も共有している。 ・振り返りが難しい時は、チャットにて各自入力し共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・支援専用のグループチャットを設けている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	2			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・すぐに指導員が教えるのではなく自分で考える場を設けたり、発語が少ない児童もカード等で選択できるようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・適宜、担任からの引き継ぎも聞き取りをし、気になったことをこちらから聞くこともある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2			・今後、実施していく予定でいる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		1		・小学生対象教室のため、該当する利用者なし。

保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2	・市川市の連絡会へ参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		・家族支援は実施しているが、研修の機会は設けていない。上長と確認し検討する。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3		・年2回、療育参観と保護者会の場を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		・苦情は無し。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・送迎表は基本的に持ち出さない。送迎で持ち出す際は、チャックでしめられたかばんの中に入れる。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・短い言葉やジェスチャー、イラストを用いて会話をする。子どもの様子で行った支援を偽りなく伝える。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		2		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	・マニュアルを教室に常備し、定期的にオンライン研修や教室内研修を行っている。	・マニュアルは策定しているが、保護者に詳細を周知してはいない。上長と検討する。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			

非常時等の対応	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		・医師の指示書ではなく、保護者の指示に従っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			